枝高進路通信

3学年
Vol.7.5

北海道枝幸高等学校
進路指導部

平成３０年１１月２７日

補足コラム！

進路通信１１月号(Vol.7)で紹介した石渡嶺司様が、皆さんのために補足コラムを執筆してくださいました。

下記のコラムを読んで、遅れるのとは逆の立場だったらどうなのかなどもう少し考えてみましょう

●コラムのそのまた補足について

枝幸高校の皆さん、こんにちは。北海道出身のライター・大学ジャーナリストの石渡です。

大学・短大・専門学校進学や大卒・高卒就職などをテーマとして記事や本を書いています。ときどきテレビにも出ますが必ずと言っていいほど、「大学ジャーナリストって普段何してご飯を食べているのだろうか」と Twitter に書かれます。と、わかっていてエゴサーチをする性格です。

さて、このたび、高塩先生から私の北海道新聞コラムについて転載の是非についてご連絡いただきました。転載については全く問題ありません。ただ、少し短いコラムなので、さらに補足としてこちらをお読みいただければ、と思います。

北海道新聞コラムでは、交通機関の乱れなどで遅刻する場合でも本人に責任がないにしてもまずは「遅れてすみません」と謝ることをまとめました。

●逆の立場ならどうか

これ、逆の立場になって考えてみましょう。たとえば、私が皆さんに対して進路・キャリア関連の講演をすることになったとします。

私は普段は東京在住です。そこで講演当日、東京から紋別空港か稚内空港まで飛行機で移動。空港からバスで枝幸高校まで移動する、としましょう。ですが、その飛行機が大幅に遅れてしまいました。するとどうでしょうか。

皆さんの進路講演が予定時間よりも大幅に遅れたら、皆さんの予定もそれだけ狂います。部活をやっている人は部活の練習ができなくなるでしょうし、大学進学希望の方は待っている間に勉強…と言っても、いつ来るかわからないので、はかどらないはず。

で、遅れてきた私の第一声が「予定よりも遅れてしまいましたが、それは航空会社の責任であって、私の責任ではありません」。

これで、進路講演を聞く気に皆さんはなるでしょうか？私が皆さんの立場なら、ふざけんじゃねーぞバカヤローってなものです。

航空会社なのか、JR なのか、天気なのかはともかく、遅れてしまって皆さんに迷惑をかけたのであれば、まずは「ごめんなさい」という謝罪しかないはずです。

→

●遅れるリスクを考える

誰が悪いか、だれの責任か、それを考えることはときには大切です。

その一方、社会に出ると、誰が悪いかどうか、よりも、どう話を前に進めるか、そこを考えていく方が大切です。

先ほどの進路講演だと、もし、私が皆さんに進路講演をする機会をいただいた場合、講演開始時間が午後であっても、その前日には紋別空港か、稚内空港には到着し、空港周辺か、枝幸町に移動・宿泊するようにします。そうすれば、急な飛行機の欠航・遅延があっても、当日の講演は予定通り、実施できます。付言すれば、講演料・交通費に宿泊費が含まれていなくても、自己負担で前日宿泊をするようにします。これは他地域の高校・大学講演でも同じです。

ときどき、

「そんな前泊するなら高校・大学に宿泊費を求めるべきでは？」

と言われます。もちろん、請求してお支払いいただけることもあれば、そうでない場合もあります。お支払いいただけない場合でも私は自己負担で前泊するようにしています。

「飛行機が遅れたから航空会社が悪い､前泊の費用を出してくれなかった高校(または講演をセッティングする進学情報会社）が悪い、私は悪くない」

という言い分は成立しなくもありません。

が、先ほどの繰り返しになりますが、それを枝幸高の皆さんが聞かされて、予定が狂わされたことについて納得できますか？できないはずです。むしろ、いい大人なのに、皆さん高校生より子供じみている、とすら思うはず。

大人の責任というのは、こういう子供じみた言い訳をすることではありません（まあ、こういう言い訳を繰り返す大人もいますがそれはさておき）。

与えられた仕事・与えられたミッションに対して全力を尽くす。それが大人の責任です。枝幸高校の進路講演であれば、まず、講演内容や講演料等を事前に相談する、それで合意できれば「予定の日時に進路講演を実施、聴衆である高校生の参考になる話をする」、これがミッションになります。そのミッションのためには飛行機が遅れることも含めてリスクに備える、それが前泊で済むなら前泊する。

それが大人の責任、と私は考えます。同じことがコラムにも書いたように皆さんにも当てはまります。

高卒であれ、短大卒であれ、大卒であれ、就職活動で面接会場に行くとき、皆さんのミッションは何か。「予定時間までに面接会場に行く。そして面接で自身のアピールをしっかりと話す」、これしかありません。

そのためには、少し早く家を出る、電車が遅れても、バス・自動車が渋滞しても間に合うようにする、などがリスク管理です。もしも、そのリスク管理に失敗して遅れたとしたら、まずは「ごめんなさい」。これが、大人になるための第一歩です。

以上、コラムと合わせてお読みいただいてありがとうございました。皆さんの就職活動が実りあるものになることを願ってやみません。

石渡嶺司　拝